

種名	<p>ノビタキ</p> <p><u>Saxicola torquata</u></p> 													
分類	スズメ目ヒタキ科ツグミ亜科													
特徴	背丈の高い草の上でさえずる高原の鳥。ユーラシアとアフリカ大陸で広く繁殖し、日本には夏鳥として渡来する。本州と北海道では各地に普通に分布するが、本州では繁殖地は広い草原のある山地に限られ、分布は局地的である。													
生活	北海道では牧場や原野、山地の草原などに広く棲息し、平地でも個体数の多い鳥の一つである。草丈の低い斜面を特に好む。低木や大きな草にとまり、空中を飛んでいる虫や地表を歩いている虫を見つけると飛びついて捕まえる。つがいで縄張りを持ち、オスは低木の頂などでさえずり飛びながら空中でさえずる。地上の草の根元や岩陰などに枯れ茎や細根で椀形の巣をつくる。													
声	繁殖期には、オスは草の上や低木、電線などにとまって「チチョーチイ、チュウチューイ」とか「フィフィーチョ、チョチョリリ」などと透き通った声でさえずる。地鳴きは「ジャッジャッ」とか「ジェッジェッ」という声で濁っている。													
見分け方	翼に白い大きな斑。オスは黒い頭と白い腰、メスは淡い橙色の下面を腰。													
時期	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>(月)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	(月)	-	-	-	4	5	6	7	8	9	10	-	-
(月)	-	-	-	4	5	6	7	8	9	10	-	-		
その他	<p>全長(L)13cm 翼開長(W)21cm</p> <p>産卵期は5～7月</p>													
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥														